

粘土って楽しいね！

R3、6、4 にじ・ほし組

先日、小麦粉粘土を楽しんだにじ・ほし組の子どもたち。丸めたり伸ばしたりしてとっても楽しかったけれど、もっと遊びたいのに1日限りで捨ててしまったのはとても残念だったようです。

それならば・・・と、「捨てなくていい粘土使ってみる？」と聞いてみました。すると「捨てなくていいの!？」と嬉しそうに目がキラリと輝きました。そこで、今日は新しい粘土で遊ぶことにしました。

新しい粘土は油粘土です。一人1個ずつの個人持ちなので存分に使えます。「自分の粘土」は嬉しそうです。



1枚の粘土を、ひねったり折ったりちぎったりして、自分で扱いやすい大きさにしていきます。



粘土を丸めたり、細長くしたりいろいろと試しています。



どんな形にしようかな〜。と集中していますね。



ハンバーガー
にしようかな。



だんだんやわらか
くなってきた!



マグロのお寿司
を作ろうっと。



「小麦粉粘土とおなじ?」と聞いてみると
「全然ちがーう!」と感触の違いを感じて
いました。

食事の後も、粘土やりたい、のリクエストがありました。紙を使った平面の制作と違って、立体的に作れることを楽しんでいました。車を作ってタイヤを4つつけて大満足。「タイヤがくっつくよ。のりでもないのに！」と、素材の特徴の違いを感じていました。



タイヤがくっつ
いたよ！



わたしはいぬを
作ってみたよ！



(タイヤも付き、立体的になっています)

くまさんが作りたい、と考えながら立体的に顔や胴体を作ってくっつけようとしていました。手は付けましたが足をつけるとうまく立ちません。そこで考えて座らせることを思いつき、親子クマが出来上がりました。



足をつけると立ちませんが、
アイデアがひらめき
手足のついたクマを
作ることができました。



お座り親子クマが完成しました

捨てないでよい粘土を手に入れ、楽しそうにいろいろな形を生み出していました。平面の制作とは違うものが出来上がる楽しさ、手を使うことで自由に形が変わる柔軟さ、小麦粉粘土との違いなどいろいろなことを感じながら遊べたのではないかと思います。これからも、どうしたら自分のイメージを形にできるかできるかを考えたり試したりしながら、作ることを楽しんでいきたいと思っています。